

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

***日本天文学会から古い日本天文学会要報譲渡、収蔵 (Vol. 1~Vol. 22)**

2014年11月6日、日本天文学会からPASJ (Publication of the Astronomical Society of Japan) の前身ともいえる日本天文学会要報の第1号から第22号 (第14~17号、20~21号欠如) を下記リストのように譲渡され収蔵した。これは日本天文学会事務所の倉庫が手狭になったため天文学に関するいろいろなものをアーカイブしている筆者に託されたものである。

日本天文学会要報

- 1) 第1号 昭和5年10月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1930 8冊
- 2) 第2号 昭和6年6月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1931 8冊
- 3) 第3号 昭和6年12月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1931 8冊
- 4) 第4号 昭和7年4月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1932 8冊
- 5) 第2巻第1冊 (第5号) 昭和7年11月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1932 8冊
- 6) 第2巻第2冊 (第6号) 第2巻第2冊 昭和8年5月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1933 8冊
- 7) 第2巻第3冊 (第7号) 第2巻第3冊 昭和8年8月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1933 36冊
- 8) 第2巻第4冊 (第8号) 昭和9年3月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1933 34冊
- 9) 第3巻第1冊 (第9号) 昭和9年3月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1934 31冊
- 10) 第3巻第2冊 (第10号) 昭和9年8月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1934 8冊
- 11) 第3巻第3冊 (第11号) 昭和9年10月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1934 8冊
- 12) 第3巻第4冊 (第12号) 昭和10年1月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1934 20冊
- 13) 第4巻第1冊 (第13号) 昭和10年4月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1934 8冊
- 14) 第5巻第2冊 (第18号) 昭和12年6月 東京天文台構内 日本天文学会編輯 1937 2冊
- 15) 第5巻第3冊 (第19号) 昭和13年3月 東京天文台構内 日本天文学会編輯

1938 1冊

16) 第6巻第2冊(第22号) 昭和15年4月 東京天文台構内 日本天文学会編輯
1940 8冊

欠如している14号は第4巻第2冊、15号は第4巻第3冊、16号は第4巻4冊、17号は第5巻第1冊であろう。日本天文学会要報は1942年(昭和17年)5月の第6巻第4冊まで発行され、その後戦争のため中断した。その後1949年(昭和24年)3月に日本天文学会欧文報告 PASJ (Publication of the Astronomical Society of Japan) が創刊されている。

日本天文学会要報第1号の表紙裏に日本天文学会の事業大要として写真1がある。

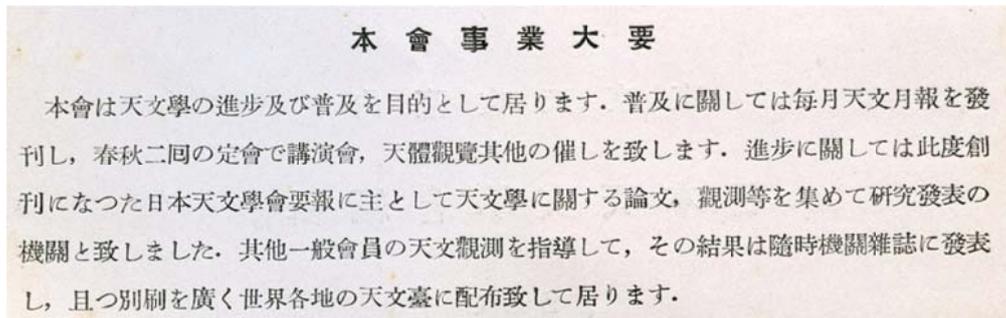
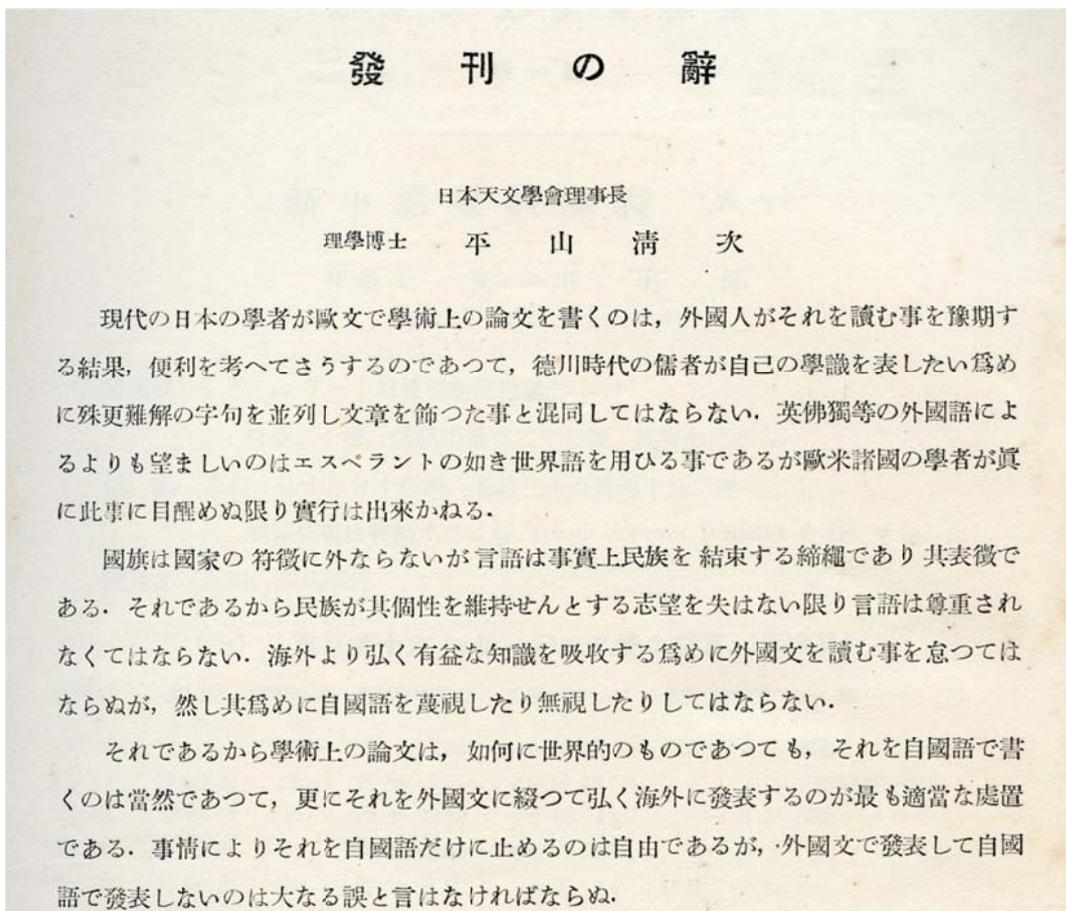


写真1 日本天文学会の事業大要

また、最初のページに日本天文学会理事長平山清次が「発刊の辞」を載せている(写真2)。



のみならず外国文と自國文と内容は同一でも著者の意想が自國文の方に適切に表はれるのは當然である。従つて其方に原作としての價値の多い事は無論である。

日本天文學會の役員の主張は實に此點に在る。其結果、定會の議決を経て實現したのは此要報である。事は小さいながらも思慮は十分に深く實行の意志は強固である。筆者は理事長として茲に役員を代表し此主意を會員諸氏並に關係ある識者に傳へる事を大なる光榮とするものである。

日本の天文學の前途は有望である。それが吾々の此新しい計畫によつて順當なる發達を遂げ、深遠なる宇宙と靈妙なる自然とが一層明確に示さるゝ事を得れば誠に幸である。

写真 2 発刊の辞

発刊の辞には、「學術上の論文は、いかに世界的なものであつても、それを自國語で書くのは當然であつて、更にそれを外国文に綴つて広く海外に発表するのが最も適当な処置である。事情によつてそれを自國語だけに止めるのは自由であるが、外国文で発表して自國語で発表しないのは大なる誤と言わねばならない」と書かれている。これが PASJ と異なり、和文報告になっている由縁であろう。また、創刊号の第 1 号には編輯後記がある(写真 3)。

編輯後記

我が日本天文學會も齡を重ねること今や二十三年に及び益々隆盛に向ひつゝあることは慶賀に堪へぬ所であります。

機關雜誌天文月報も漸次その内容の充實、體裁の改良を圖つて參つたのでありますが、唯少し難解に過ぐる點のあるのは、誠に遺憾に存する所であります。尤もこれも本會の目的たる〔天文學の進歩及び普及〕を同一雜誌にて併せ行はんとする爲めに起ること、此儘では何とも致し方ない事なのであります。それで此度天文學の進歩的方面と通俗的方面とを或程度迄區別し、從來の〔天文月報〕には主として通俗的記事を掲載して専ら普及を圖り、新に〔日本天文學會要報〕を刊行して邦文の研究及び觀測報告、綜合報告等を掲載し以て天文學の進歩を期したいと考へ、遂に本要報を發行することに致しました。

この要報は去る四月の評議員會で毎年一回(若しくは二回)發行致すことに決定し、取敢へずその創刊號を此度刊行することに致しました。本號に於ては多數の研究及び觀測報告等の寄稿があり、充實したる内容を以て創刊號を發行することの出來たことを衷心感謝致す次第であります。唯編輯者不慣れの爲め體裁等に於て充分期待に添ふことの出來なかつたことを心苦しく感じます。

本號の掲載順は便宜上、主として太陽系に關するもの、恒星系に關するもの、其他地球物理學等に關するもの、と分類して掲げました。この點切に各位の御寛恕を願致し度う存じます。

第二號は明年五月發行致す豫定でありますから、原稿は三月三十一日迄にお送り下さい。(鎔)

写真 3 編輯後記

第 1 号から第 4 号までは、○巻□冊という表現ではなく、第 5 号から第 2 卷第 1 冊になっている。

写真 4 に第 1 号の表紙、写真 5 に第 5 号の表紙を示す。今回、日本天文学会から筆者に託された中で欠号になっているものは当然日本天文学会には揃っているだろうし、国立天文台図書室にもあると思つている。

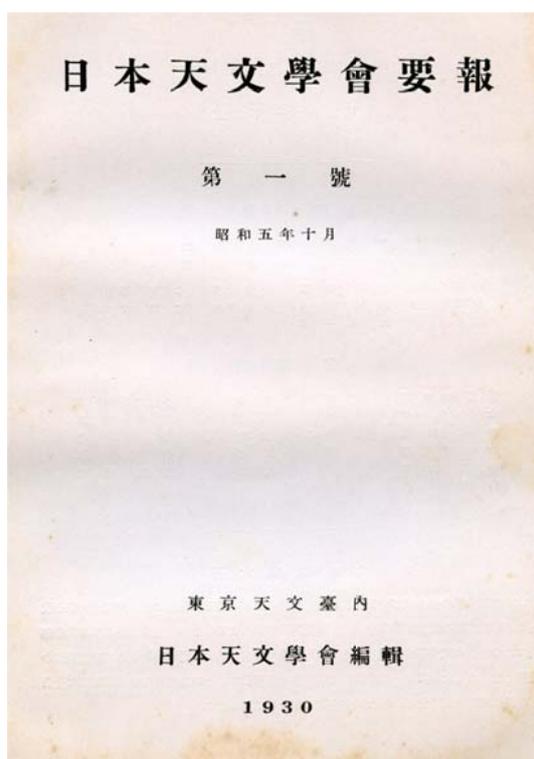


写真4 第1号

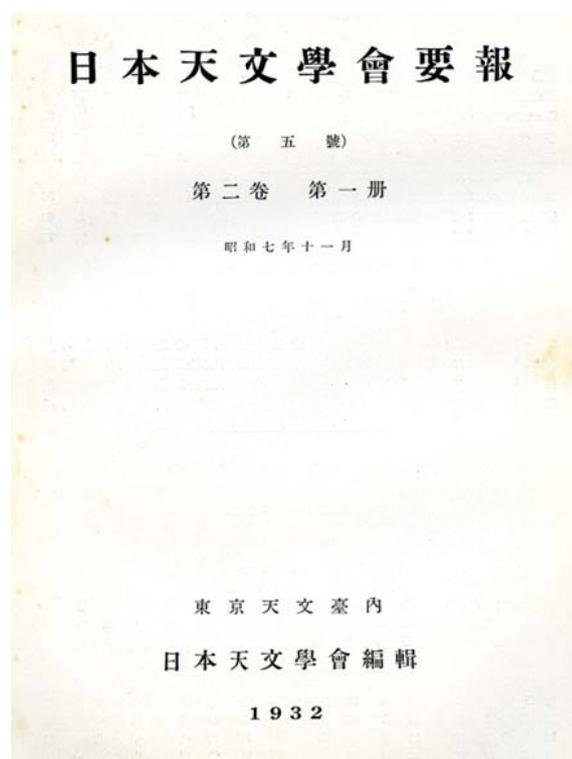


写真5 第5号

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp